

入室基準

他のお子様への配慮のため、医師の許可があっても当園の基準に満たない場合、お預かりはできかねます。ご了承ください。ご家族の方（同居）で感染している場合も必ず申し出て下さい。（消毒強化・予防強化のため）

感染症名	入室基準	感染しやすい期間
風邪	解熱してから。 37.4℃以下	
インフルエンザ	発症したあと 5日 経過し、かつ解熱した後 3日 経過するまで咳がなくなり、投薬が不要な状態（マスク着用できるなら可）	発症24時間前～後3日間で最も多い。通常7日以内に減る
ウイルス性胃腸炎	嘔吐・下痢がなく、食欲がもどった状態が 2日 以上	保菌者が嘔吐・下痢があるとき 潜伏期間1日～3日 症状1週間
手足口病	診断から 1週間 以上経過し、かつ痂皮化するまで（乾燥）露出してるもの全てを絆創膏または持参の洋服で覆うこと	潜伏期間2日～5日 症状が出ている間は感染力が高い
ヘルパンギーナ	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響、痛みがなくなり食事がとれること	潜伏期間2日～1週間 発熱前後が最も感染力が高い
流行性角結膜炎（はやり目）	結膜炎の症状が完全なくなり、医師により感染の恐れがないと診断	充血・眼脂など症状が出現した数日間、感染力とても高い
急性出血性結膜炎	医師により感染の恐れがないと診断	潜伏期間1日～2日
とびひ	治療開始から 3日 以上かつ痂皮化するまで（乾燥）露出してるもの全てを覆うこと	虫刺されや傷があるとき 接触やプールでの感染 菌に触れた手で傷口に触れる
プール熱（咽頭結膜熱）	症状が消えてから 2日 以上	発熱・充血など症状が出現した数日間
水いぼ	浸出液が出ていないこと 露出してるもの全てを覆うこと	潜伏期間 2週間～1.5ヶ月 皮膚と皮膚が触れた場合に感染する
おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）	耳下腺・顎下腺・舌下腺の腫脹発現してから 5日 経過、かつ全身状態良好になっていること	発疹出現2日前～ 耳下腺腫脹後5日間
水ぼうそう	発疹が痂皮化するまで（黒く乾燥）露出してるもの全てを覆うこと	発疹出現2日前～痂皮形成まで
はしか（麻疹）	解熱後 3日 以上経過し、かつ発疹出現後 1週間 以上食事がとれること	発症1日前～発疹出現後4日後
風疹	発疹が全て消失していること	発疹出現数日前～後5日間
結核	医師により感染の恐れがないと診断	感染者の咳やくしゃみ
百日咳	咳が消失してからまたは、 5日間適正な抗生物質剤治療を終了し、2日間経過していること	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間経過するまで
腸管出血性大腸菌感染症（O157.O26.O111）等	症状が治まり、かつ抗菌薬治療が終了し48時間をあけて連続 2日の検便で菌陰性を確認されていること	汚染された飲食物を摂取した場合
髄膜炎菌性髄膜炎	医師により感染の恐れがないと診断	菌を保有してる人の咳など
アタマジラミ	診察を受け、 2回 以上治療している	頭毛が接触したとき